



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

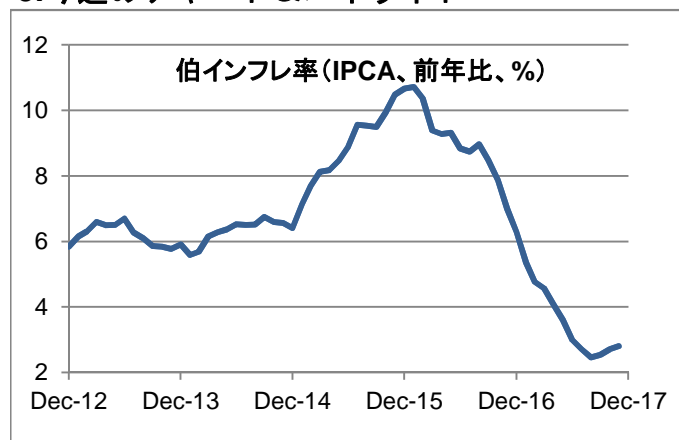
			12月18日	12月19日	12月20日	12月21日	12月22日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2890	3.2910	3.2960	3.3070	3.3380	+0.0310
	BRL/JPY	Spot	34.23	34.34	34.39	34.28	33.94	-0.34
	EUR/USD	Spot	1.1784	1.1844	1.1879	1.1872	1.1851	-0.0021
	USD/JPY	Spot	112.56	112.93	113.42	113.34	113.32	-0.02
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.711	6.703	6.702	6.706	6.699	-0.007
	Future	1Year(p.a.)	6.898	6.888	6.885	6.902	6.904	0.002
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.578	2.526	2.507	2.493	2.473	-0.020
	USD	1Year(p.a.)	2.781	2.743	2.741	2.727	2.700	-0.027
株式	Bovespa指数		73,115.44	72,680.38	73,367.06	74,989.75	75,186.56	+196.81
CDS	CDS Brazil 5y		164.14	164.04	163.65	164.32	164.27	-0.05
商品	CRB指数		185.418	186.016	187.090	187.736	187.878	+0.142

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは週末にかけて3.33台後半へ下落。
- 週初のレアルは3.2960で寄り付いた。年金改革法案の下院投票が来年2月に延期されたことで材料を欠く中、週半ばまでは3.28から3.31のレンジで方向感に乏しい動きが継続。その後、S&Pが年内にブラジルの格付けを見直す可能性があるとして報じられたことで3.31台へ値を下げた。週末にかけては大口の資金流出が見られたことで下げ幅を拡大し、週間安値となる3.3390まで下落。そのまま安値圏の3.3380で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.91%から0.96%へ、2018年は2.62%から2.64%へそれぞれ上方修正された。インフレ率予想は2017年が2.88%から2.83%へ、2018年は4.02%から4.00%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.25から3.29へレアル安方向に修正されたが、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 21日、S&Pが年内にブラジルの格付けを見直す可能性があるとして報じられたことでレアル売りの反応が見られたが、情報の信憑性に疑問が持たれる中、レアル売りの動きは続かなかった。
- 21日、12月の伯インフレ率(IPCA-15)が発表された。前年比+2.94%と市場予想と一致。食料品価格の低下等を背景に引き続き伯中銀・財務省が設定する目標レンジ(3%-6%)を下回る水準となったが、予想と一致したことで市場の反応は限定的となった。2017年における通年のインフレ率(IPCA)は来年1月10日に発表される。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



## 伯中銀のインフレ見通しは前回COPOMの内容を維持

21日、伯中銀は四半期のインフレレポートを発表。9月分と比較して2017年のGDP予想を+0.7%から+1.0%へ、2018年を+2.2%から+2.6%へ上方修正した。インフレ率については、市場予想の金利・為替レートに基づく試算で2017年を+3.2%から+2.8%、2018年を+4.3%から+4.2%へ下方修正。2019年と2020年については各々+4.2%、+4.1%で据え置いた。リスク要因として食料・鉱工業品の低インフレが他分野へ波及する可能性や、経済改革の停滞等を指摘。内容は前回COPOMの議事録に近いものとなった。市場は引き続き来年2月に0.25%の利下げが実施され、政策金利が6.75%へ低下するとの見方を維持している。



## 4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.25—3.40

来週のレアルは弱含みの展開を予想する。伯議会は休会入りし、目立った経済指標の発表も予定されていない。引き続きS&Pによる格下げへの警戒感を背景にレアルは上値の重い動きが見込まれるが、年末で流動性が低下することからボラタイルな動きとなるリスクには注意をしたい。尚、来週は25日がクリスマスで伯市場が休場となる他、29日はBM&F取引所が休場となり流動性が一段と低下する見込み。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV消費者信頼感	--	86.4	86.8
ブラジル	ローン残高(前月比)	--	0.4%	0.1%
ブラジル	融資残高	3064b	3064b	3052b
ブラジル	個人ローンデフォルト率	5.5%	5.4%	5.6%
米	個人支出	0.5%	0.6%	0.3%
米	PCEコア(前月比)	0.1%	0.1%	0.2%
米	耐久財受注(前月比)	2.0%	1.3%	-0.8%
米	シカゴ大学消費者マインド	97.2	95.9	96.8

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	12/26	FGV建設コスト(前月比)	Dec	0.28%	0.28%
ブラジル	12/26	中央政府財政収支	Nov	-9.9b	5.2b
米	12/26	リッチモンド連銀製造業指数	Dec	21.0	30.0
米	12/26	ダラス連銀製造業活動	Dec	20.0	19.4
米	12/27	コンファレンスボード消費者信頼感	Dec	128.0	129.5
ブラジル	12/28	FGVインフレーション(前月比)	Dec	0.92%	0.52%
ブラジル	12/28	FGVインフレーション(前年比)	Dec	-0.49%	-0.86%
ブラジル	12/28	基礎的財政収支	Nov	-10.2b	4.8b
ブラジル	12/28	Nominal Budget Balance	Nov	-47.4b	-30.5b
ブラジル	12/28	純債務対GDP比	Nov	51.2%	50.7%
米	12/28	卸売在庫(前月比)	Nov	0.3%	-0.5%
米	12/28	小売在庫前月比	Nov	--	-0.1%
米	12/28	新規失業保険申請件数	Dec 23	240k	245k
米	12/28	シカゴ購買部協会景気指数	Dec	62.0	63.9
ブラジル	12/29	全国失業率	Nov	12.1%	12.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。